第243号
発行所
新潟県中魚沼郡
中里村公民館
毎月1回15日
定価 1部 5円

なかさと

10月1日現在

人口	7,301	(＋ 6)
男	3,620	(＋ 3)
女	3,681	(＋ 3)
世帯数	1,667	(－ 1)

カッコ内は前月との比較

年々良くなる子どもの体位

最近の子どもは体格が良くなったという事がいわれる。確かに大きくなっていることは見ただけで分るのだが、具体的に身長や体重、胸囲などについて数字的にみてどのように変化しているのかということになると自分の子どものことについても、はてなというところが多くなるのではないだろうか。

そこで、このたび村内の小学校一、三、六年生、中学校三年生の身長、体重、胸囲について昭和49年度と51年度の平均値を調査してみました。昭和49年度の数字については全国及び県の平均値を別表に掲げておきましたが、年々、児童生徒の体格は向上しているが、全国平均、県平均には少し劣る事等がわかります。

			小学校1年	小学校3年	小学校6年	中学校3年
身長	男	49年度全国平均	115.2cm	126.4cm	141.7cm	161.9cm
		〃 県平均	115.4cm	126.8cm	142.0cm	162.2cm
		〃 村平均	115.8cm	126.1cm	142.1cm	158.6cm
		51年度 〃	116.4cm	128.8cm	141.2cm	161.4cm
	女	49年度全国平均	114.5cm	125.8cm	143.9cm	154.7cm
		〃 県平均	114.8cm	126.4cm	144.6cm	155.5cm
		〃 村平均	114.0cm	125.5cm	143.2cm	154.2cm
		51年度 〃	115.4cm	125.9cm	144.9cm	155.1cm
体重	男	49年度全国平均	20.5kg	25.7kg	35.0kg	50.7kg
		〃 県平均	20.6kg	25.7kg	35.3kg	50.9kg
		〃 村平均	20.2kg	25.5kg	35.4kg	47.6kg
		51年度 〃	20.9kg	25.1kg	34.7kg	51.1kg
	女	49年度全国平均	20.1kg	25.2kg	36.7kg	48.8kg
		〃 県平均	20.2kg	25.3kg	38.8kg	49.4kg
		〃 村平均	19.3kg	24.6kg	34.9kg	49.4kg
		51年度 〃	19.7kg	25.0kg	38.6kg	49.2kg
胸囲	男	49年度全国平均	57.3cm	61.8cm	68.9cm	79.1cm
		〃 県平均	57.8cm	62.2cm	69.4cm	79.8cm
		〃 村平均	55.6cm	61.7cm	68.0cm	77.6cm
		51年度 〃	58.1cm	61.7cm	68.5cm	80.5cm
	女	49年度全国平均	55.9cm	60.3cm	69.7cm	79.2cm
		〃 県平均	56.2cm	60.7cm	70.4cm	79.6cm
		〃 村平均	54.4cm	58.3cm	67.9cm	80.0cm
		51年度 〃	56.2cm	60.0cm	71.1cm	79.7cm

＝税を知る週間＝はじまる

十一月十一日から十一月十七日まで、全国いっせいに「税を知る週間」が実施されます。

この週間は、〝税〟とはどういうものか、国民の皆さん全体に十分に知っていただくのが目的です。これを機会に、税務署を大いに利用して下さい。

―十日町税務署―

ヨーロッパを見学して

村長さんはじめ村民のみなさんの御協力をいただき、私達親娘二人は、八月十九日十九時、NHK関係の世界青少年交流協会のお仲間入りをさせていただいて、約三週間の予定で訪独親善の旅立ちをいたしました。

私達夫婦は娘のお供で、言葉も分らず、字も読めない浅学の身、期待と不安の背中合せの旅です。二十一日、ドイツのフランクフルト空港に着きました。

初めて見るヨーロッパの町、目に入るもの何もかも珍らしく、建物から草木にいたるまでキョロキョロして大きな声を出しては娘にしかられる有様でした。

その日空港ホテルで親善のレセプションがあり、団員のみなさんと一緒に広間に入ってゆくとこの国の教育大臣（日本の文部大臣にあたる）コルマンとかいうお方からいきなり握手を求められてびっくりしました。

娘の表彰式を行うとか。私達夫婦は目をパチクリ、何が何だか分らずただおどおどするばかりでしたが、通訳の方の話しでようやく気持も落ちつき、只感激して涙ばかりが出て言葉にもなりませんでした。

「旅先もよく先々まで勉強して下さい」との言葉をいただき、エスコートの人もつけてくれました。皆様の御配慮の程有難く身に感じました。

お陰様で、旅先何の不自由もなく二週間のドイツの旅を楽しくすごしました。

先ず最初に北の方のハノバという町（人口約二十五万人）に一週間滞在、各所を見せてもらいました。病院、リハビリテーション、世界有数の自動車メーカーのホルクスワーゲンの工場でのハンデイキャップを負った人々の就労状況、又、これらの方々の家庭や一般の方の家を訪問し、日本の私共と比較して大変勉強になりましたし、一概には言えませんが福祉関係は日本より進んでいるように思われました。勉強の合間に美術館、博物館、オペラなども見せていただきました。食べ物の方は一週間もしたころから大部なれましたが、パンとジャガ芋の主食、スープと肉食で一般にドイツ人は酢味を好む人種とか、私共には少々こたえました。

又、町の道路、公園、駐車場なども見ましたが、ゴミがなく本当にきれいでした。

八月二十日、北方ハンブルグの港町の重工業地帯を見学し、その日の夕方西ベルリンに泊まりました。途中東ドイツ領内を通過したのですが、列車内でいつも目を光らせている官憲のものものしさには少々頭にくることがありました。

東ドイツは西ドイツに比べ民家、商店、町の中は同じ民族であり乍ら思想が異るとこうも違うものかと感じ、私達ははじめて日本はよい国だとしみじみ感じました。私達娘と車イスの旅エスコートの大学生、ユークさんがよく親切にしてくれました。又、この国のバス、列車には身障者用の席が定められており、ラッシュ時でも席がとれますし、日本では車イスで町中を散歩している姿は見られませんが、この国では各所で出合いお互いに微笑み合う事もありました。言語障害になりがちの私達の旅も最後にハンブルグの城下町ニグツ河のほとりに散歩しているとき、日本から車イスでこられたのは初めてだと聞きました。更にスイス、フランスと廻り、パリに二泊三日滞在しました。建物の大きさに、美術品の美しさに、ベルサイユ宮殿の絵画、彫刻に驚きつつ、ヨーロッパの旅を無事終りました。

一重に皆様方のお陰でありほんとうに有難うございました。厚く御礼申し上げます。

旅先き一番心配した娘が一番元気でした。

羽田について日本の有難味がしみじみと湧き上りました。

（宮中 村山 幸枝）

村の「ことわざ」

小柳 定夫―採集―

◇善は急げ。
◇他人の飯には骨がある。
◇地獄の沙汰も金次第。
◇災害は忘れた頃にやってくる。
◇遠くて近きは男女の仲。
◇泣いて暮らすも笑って暮らすも一生は一生。
◇情は人の為ならず。
◇二階にあげて梯子をとる。
◇念には念を入れれ。
◇ノドから手が出る様。
◇馬鹿の一つおぼえ。
◇八方美人。
◇百害あって一利なし。
◇人の褌で角力とる
◇へっぴ（屁）が嫌百もちあげた様。
◇坊主憎けりゃ袈裟まで憎い。
◇馬子にも衣裳。
◇無理が通れば道理が引こむ。
◇持ったが病。
◇焼目に焦杵。
◇若い時の辛抱は買ってもしれし。
◇悪銭でクラが建ったためしなし。
◇足もとから火がつく。
◇痛シカユシのカサ頭。
◇犬もさわげば棒にあう。
◇うまい物には砂がある。
◇オト見っ子がじくねる様。
◇男は敷居をまたげば七人の敵がある。
◇カラ床へとび出す。
◇飼犬に手を噛まれる。
◇勝ち馬にのる。
◇醤用貧乏。
◇木から落った猿の様。
◇クソの役にもタタナイ。
◇転ばぬ先の杖。

中里文芸 十月投稿

な、かまど手折れば夕日胸に消ゆ　大泉海人

茸がりあぶれて帰る雨つづき　おのえ露丘

樹海をくぐりくぐれば木の実降る

稲架ごしに星のつぶやき不作の歩　溪雪

近よれば鈴虫の音はたと止む　深雪

山の子のおとがい見えて秋高し　菊子

雲ちぎれ遠き記憶に月回る　カウ

足裏をくすぐる如くねこじゃらし　とし子

緑陰に御座さだまらず新地蔵　鳴石

端まくるハウスに匂う懸煙草　独山

間引菜を藁で束ねて菩提寺へ　迫

熟れ果や陽に背を向けて見げた　時習

空澄んでこぼるる雨や惟の声　泥児

花若荷藪陰淡き幸に生き　玉泉

石投げて波紋好く子や秋の水　栄山

梅干しにほてり残して路地くる　寂子

あけび持ち心のつかれむらさきに　涼子

女声きらりと片側あかき椿の実　大島タキノ

人生往来

◎産声

氏名	父の名	部落
廣田 治幸	寅一	小原
富井 政則	政雄	市之越
服部 直子	清夫	荒屋
樋口 義和	進	千溝
服部 美樹	辰雄	小原
南雲 友徳	忠行	堀之内
藤田 満	真実	小原
井口伊和男	和俊	上山
服部 和也	重二	東田沢
南雲 和伸	信雄	重地

◎高砂

新郎	新婦	
山田 勝弘(三二)	坂元ミエ子(三四)	香川県

◎昇天

氏名	年令	部落
村山 ハツ	(六一)	田沢
岡村 弘美	(六五)	倉俣
竹藤 常吉	(七三)	芋川
大島タキノ	(六五)	東田尻

魚沼スカイライン一部開通

―村民の格好のハイキングコースに―

魚沼地方の観光開発に一役、と去る四十二年中里村、十日町市、六日町、塩沢町、湯沢町の関係五市町村で「魚沼スカイライン開発組合」を結成してから十年。計画されていた全長三十三キロのうち約三分の二にあたる二十キロが、総事業費一億八千五百万円をかけて開通した。

開通したのは国道二五三号線（八箇峠）と三五三号線間の一部町、県、旧国道を含めた一九、五三〇M。現在はまだ一般車輌の通行は制限が加えられているが、今後、当間山より十二峠を経て湯沢町大峰に至る十三キロの開設工事に併せ、今回開通した部分を県に移管して改良舗装などを進めたいとしている。

魚沼スカイライン沿線の観光名所としては、八箇峠や当間山からの展望、栃窪観音などがあるが、今後さらに各市町村の観光と結びつけるべく組合では観光開発基本計画の策定を検討中である。拿下部落への分岐点から車で五―六分も登ると、眼下に南魚沼の平野部と上越国境の山々を一望できるこのスカイラインは、松之山と貝野を結ぶ林道、小沢・東山線と並んで村民のみなさんの格好のハイキングコースになることが予想されている。

NHK青年の主張原稿募集

青年のみなさんが何を感じ何を考えているかを一般の人々に強く訴えるとともに、現代の若い世代の清心かつ建設的な意見を交換することを目的とした第二十三回NHK青年の主張全国コンクール新潟県大会が11月23日に開催されます。

応募規程は次の通りです。

◎参加資格　県内に住む昭和26年1月16日から昭和36年4月1日までに生まれた方で、性別、学歴、職業は問いません。

◎応募方法

今年の課題は次の五つです。

(1)わたしの選んだ道
(2)海外体験におもう
(3)わたしの父親、母親論
(4)学歴社会への提言
(5)わが郷土を見つめて

出場希望の方はこのうち一題を選んで、五分以内で発表を終るように意見をまとめた原稿（四百字詰原稿用紙四枚程度）を11月5日までに、郵便番号九五〇新潟市弁天一の四の十五NHK新潟放送局「青年の主張」係へ送って下さい。応募原稿はお返しいたしませんので、あらかじめ発表用に原稿のコピーをとっておいて下さい。

応募は一人一題に限ります。

原稿には、住所、氏名、年令、職業などをはっきり書いて、さ

農業祭に参加しよう

先月号を、以てお知らせしましたが、"中里村農業祭"が近づいて参りました。

稔りの秋ならぬ凶作という年となり農家のみなさんの気持は暗く、「農業祭」どころではないと思っている方もないことではないと推察されますが、しかしこの凶作に泣く丈でなく、教訓として今後に対処しなければなりません、来年も又、追いつけて今年のような気候に、ならないとは誰ども断言できないことです、その意味において農業祭（公民館にあります）を添えて下さい。

尚、応募に関する詳細はNHK新潟放送局「青年の主張」係（電話〇二五―二四七―三二一一）へお問い合せ下さい。

郷土資料室から

公民館では、多くの村民のみなさんから　昔から家にあった貴重な　生活用具など　沢山の資料の提供を、いただき今日迄　これの保存に努めて参りましたが　今度総合センター展示室に　これらの資料を展示し、これを八開　過去の生活をみつめ今後の資と　いたしてもらいたいと　考えております。

資料は郷土の文化財として、大切に管理して参る所存でおります。

魂を、振い起し　村中全農家がこの行事に積極的に参加　出展物を通し　自分の考え方　在り方について見直し　極めて有意義なものであったとしたいものです。

それには、

○各戸が最低一点は、出品する

○当日は　みんなが会場に出かける。

そして、見たり　聞いたり、語り合うことにあると思われます。

昔から「春彼岸の入りに天気が悪いと早稲がよくない」「中日に悪いと中生が悪い」そして「仏様のゆく日に悪いと晩生が悪い」といわれています。

又、「桐の花、コブシの花が沢山咲いた年は豊作」だといい、反面、「ジャガ芋のよい年、木の実のいっぺえなる年、竹の花が咲いた年は凶作だ」といったこの他「早ばつに凶作なし」「降り年に豊作なし」ともいっています。今年の作柄はこれと合わせみていかがだったでしょうか。来年は「巳年の凶作」といわれる「巳年」にあたります。

さて、今年も又冬がやって参りますが雪についてはこう言われています。

「かんのん虫（かまきり）が低い所に巣をかける年は小雪、高い所にかけると大雪」

「げえろ（蛙）やへっぴ（蛇）が浅い所に冬ごもりする年は小雪」「蔓葉がばか伸びした年は大雪」「冬至前に雪を、掘りする年は十掘りする」「こうぞの木が伸びる年は大雪」「秋の木のもと」「菊の蕾のかたいときは大雪」「鴨や山鳥の毛がわりが早いと雪は早い」「足長蜘が高い所に巣をかけると大雪」「とうまめ（玉菊豆）の木が太ければ大雪」「ミソキッチョウ（ミソサザエ）がコケをむしると大雪になる」「うらじろ（シャクナゲ）の花が二度咲く年は雪が早く大雪になる」「椿の蕾が葉の裏についた年は大雪」「秋、ウドの芽の大きいときは大雪」。以上の様に言われていますが、これは私達の先祖が長い年月、動植物の生態を丁寧に観察し、それを自分達の土地、生産に結びつけて判断したものです。この経験知こそこの土地に生活する私達にとって、極めて貴重なものといえましょう。

作業の中でよく観察、こなみて下さい。そしてどうであったか教えていただきたいものです。小柳

ことしの降雪について

"スポーツの秋"

村民野球大会・村民剣道大会開催

去る十日、体育の日に田沢、倉俣両中学グラウンドを会場に九チームが参加して行われた村民野球大会は雨のため全日程を消化できず、準決勝一試合と決勝が延期された。

又、十一日に田沢小学校で行なわれた村民剣道大会は四十三名の剣士たちによって熱戦がくりひろげられた。

結果は次のとおり

六年生の部
一位　広田　達巳
二位　藤田　和之
三位　樋口　祐文

中学女子の部
一位　田中　比呂子
二位　城田　郁子
三位　樋口　早苗

中学生無段者の部
一位　清水　芳秀
二位　志田　幸夫
三位　樋口　徹

中学生有段者の部
一位　滝沢　和彦
二位　滝沢　秀雄
三位　高橋　昭紀

村民球技大会 参加募集

公民館では、体育協会との共催による村民球技大会を次の通り計画し、多くの村民の参加を呼びかけています。

◎期日　十一月七日（日）　午前九時
◎会場　田沢小、中学校体育館
◎種目
卓球（田沢小）
個人戦及び団体戦（男子三名女子二名）
排球（田沢中）
試合は一チーム女子四名以上を含む九人制で行います。
籠球（田沢中）
いずれの種目にもチームを組めない時は、個人参加者同志でチームを組む事もできますので気軽に参加して下さい。

尚、当日午前九時より田沢中体育館で開会式を行いますので参加者はみんな出席して下さい。

在宅重度心身障害児者 緊急保護事業

～10月からスタート～

▽緊急保護事業とは―
家庭にいる重度の心身障害児（者）の世話をしている保護者が、事故や病気などのため、家庭での世話ができなくなった時に、その障害児（者）を施設などに一時入所させて保護者に代わって保護する制度で、十月から次により実施します。

▽対象者は―
特別児童扶養手当や障害福祉年金などの一級の手当の支給対象（現に受けていない者も含む）となる重度の心身障害児（十八才以上の身体障害者を除く）

▽どのようなときに―
実際に世話をしている保護者が、病気、出産、事故、親族の危篤などのため、一時的に世話ができなくなった時です。

▽保護を行う施設は―
知事が指定又は登録した社会福祉施設、国立療養所などのうち、原則として保護者に最も近いところで預ります。

▽受け付け窓口は―
市町村役場で受け付けを行い児童相談所で決定いたします。

▽詳しくは―
役場社会課へお問い合せ下さい。

中小企業退職金共済制度について

この制度は、国の援助によって、中小企業でも有利な退職金を確実に払えるようにするために、中小企業退職金共済法にもとづいて設けられたものです。

(1)利用できるのは中小企業だけ
常用の従業員数が一人から三百人（卸売業は百人、小売、サービス業等は五十人）までの企業であれば利用できます。
兼務役員も従業員と一緒に加入できます。

(2)掛金は全額免税
(イ)掛金は損金又は必要経費として全額免税となりますので所得税、地方税が安くなります。
(ロ)掛金は全額事業主負担で、毎月、事業団の各代理店（金融機関）に払い込んでいただきます。
(イ)掛金は八百円から一万円までの金額のうちから、従業員個人ごとに決めます。
(ニ)掛金は加入後いつでも増額できます。

(3)国の保障で有利な退職金
(イ)退職金は、従業員が退職したときに、事業団からその従業員に支払われます。
(ロ)退職金は、従業員の定着を奨励するために、長期勤続者に有利になっています。
掛金を三年以上払い込むと退職金に国庫補助金がつきます。
尚この外くわしい事を知りたい方は産業課にお問い合せ下さい。

郵政省で 米寿の祝いを

郵政省では、本年度も米寿を迎えられる（明治二十一年生れ）お年寄りに、郵政大臣からお祝い品を贈呈されることになりましたが、当村関係では次の方々が対象者となりました。

滝沢　トモ（田中）
服部　サエ（小原）
小林　房吉（荒屋）
中沢　トク（通り山）
桑原　トシ（重地）
山田　永茂（朴木沢）
山田　キン（東田尻）

田沢小学校が 台風被災者へ見舞金

去る九月三十日、田沢小学校児童職員一同より十七号台風被災者へ見舞金として七、四〇〇円いただきましたので、役場社会課では日本赤十字社へ送りました。

調停シリーズ（最終回）

―調停の結果―

調停が成立して、その条項を記載した調停調書は、ふつうの約束書とちがって、確定判決と同一の効果という強い力をもっています。万一、当事者が調書で定められた約束を果さない場合には、判決と同じようにこの調書にもとづいて強制執行をすることができるのです。

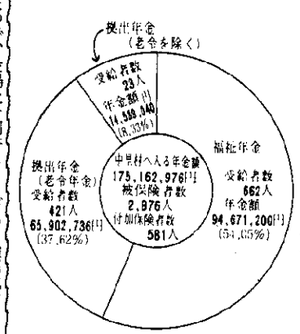
とくに家事調停の場合には、家庭裁判所にたのんで履行の勸告をしてもらうこともできますし、それでも効果のないときは過料の制裁によって、約束の履行を間接的に強制する方法も設けられています。

さらに又、家庭裁判所が当事者の間に立って、おたがいの間の金銭の受け渡しの仲立ちをして、履行を確保する制度もありますからたいへん便利です。

―年金通信(4)― わたくしたちと国民年金

国民年金が生れ、国民年金時代にはいってから早いもので十七年目を迎えました。

私達、日本人の寿命は年々延び、近い将来、日本は今まで世界のどの国も経験したことのない老人大国になるといわれていますが、今、国民年金には、日本の全人口の$\frac{1}{3}$にあたる、およそ二、六〇〇万人もの大勢の人々が加入し、きたるべき老後に備えています。一方、現在お年寄りに支給されている老後の年金についてみますと、六十五才以上の総人口八八二万人のうち国民年金から年金の支給を受けている人は七四三万人（老令（通算）年金二八二万人、老令福祉年金四六一万人）にのぼります。このように国民年金は、国民四人に一人が加入し、その老後に備えていると同時に老令者の八十四%にあたる人々に年金を支給して老後の生活を支えている、文字通りの「国民年金」です。また、国民年金はこの他にも加入者や受給者、地域のみなさんの福祉増進を図るため、生活資金や住宅建築資金の貸付けあるいは市町村などに対して病院、保育所、老人ホーム、簡易水道などの建設資金の融資も行っていますが、当中里村でもこの年金積立金の融資を受けて老人福祉センター、簡易水道、医師住宅などが建設されています。このように国民年金は、ただ単に老後や万一の時に年金を支給するばかりでなく、私達の日常生活に深くかかわりを持つ身近かな制度です。

中里村の年金のすがた

昭和51年3月末現在